



編輯石井善内

吉田松陰之像

近世見聞録
二
号

近世見聞録



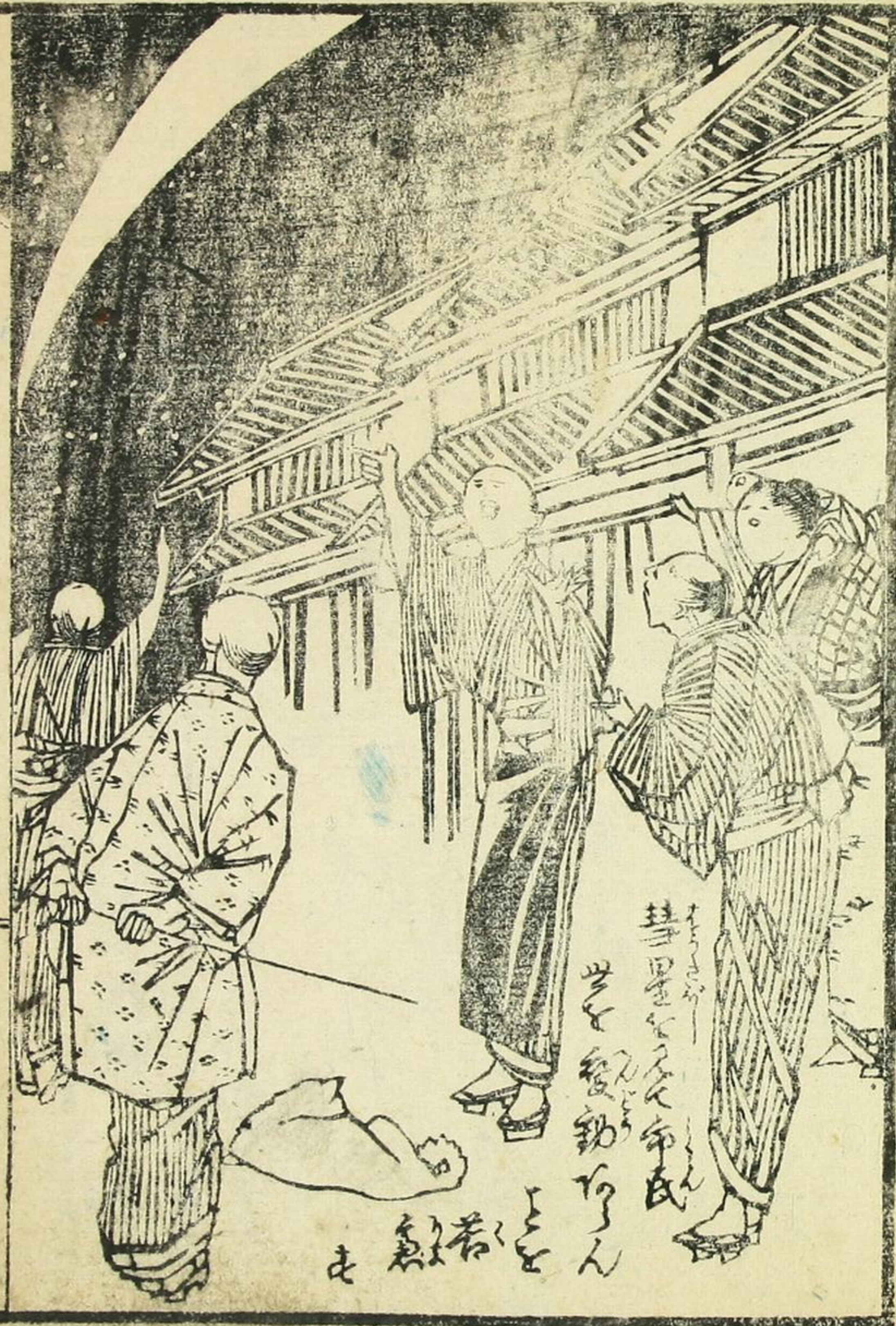
25

20

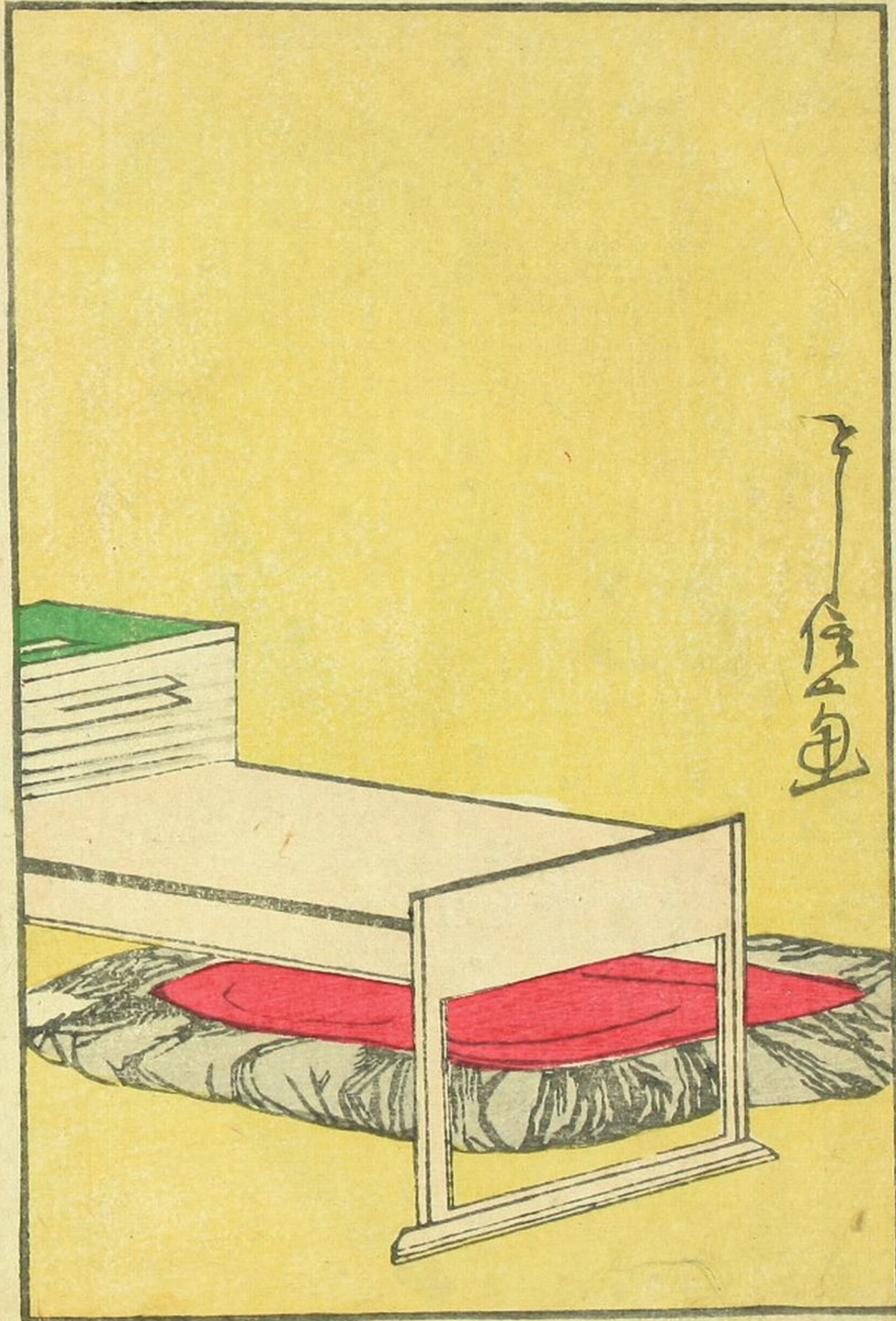
15

10

九世見月保二



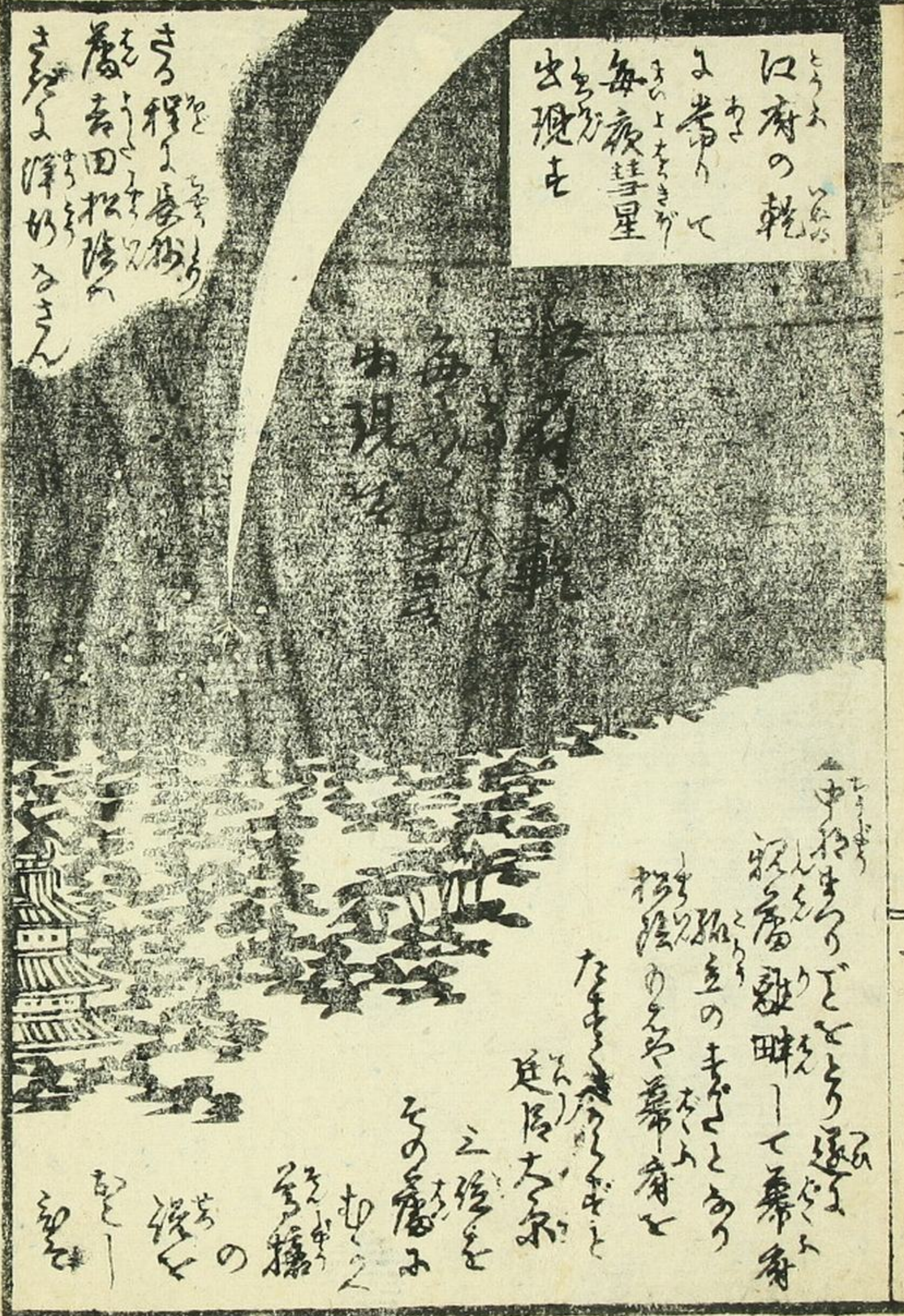
A458
2



信三

48-2074

江戸の乾
 又考りて
 毎夜彗星
 出現を



さる程の事あり
 慶吉田松隆の
 まるく詳なるさん

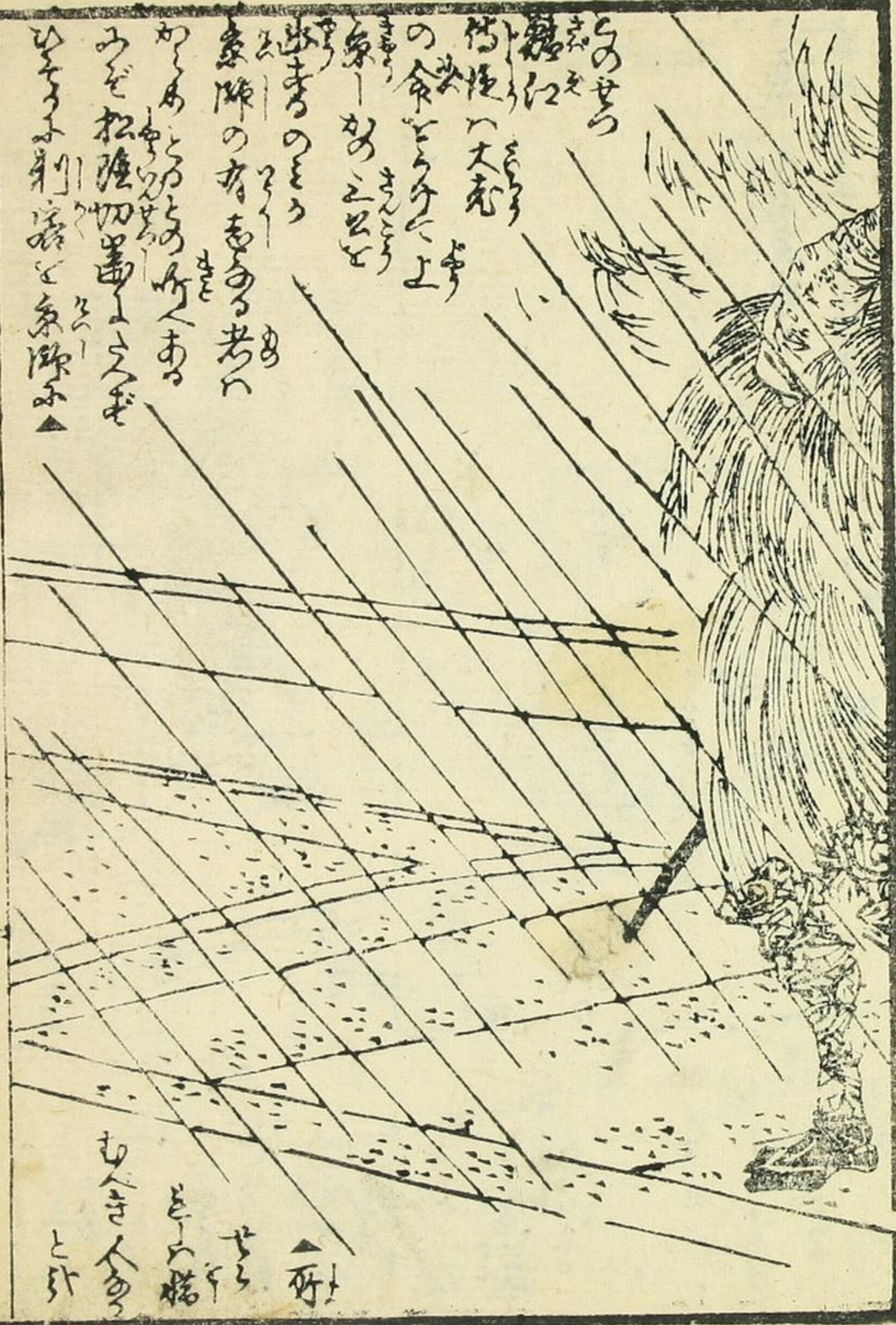
中ねまのりごとより遠く
 寂しく遊味して舞舟
 松立のまきとあり
 松陰の名も舞舟と
 たまきとありと
 延長大系

その層を
 三後を
 延長大系
 延長大系
 延長大系

江戸の緯ありき
 幕府の慶
 返り之禁酒あり
 有る幕府
 付んとの幕をひき
 う小唱ありり松陰
 獄中ありり道と
 きまの半江み
 遠せまるを多り出と
 地ツと幕ありと
 久後獄と許され
 ありり聲根

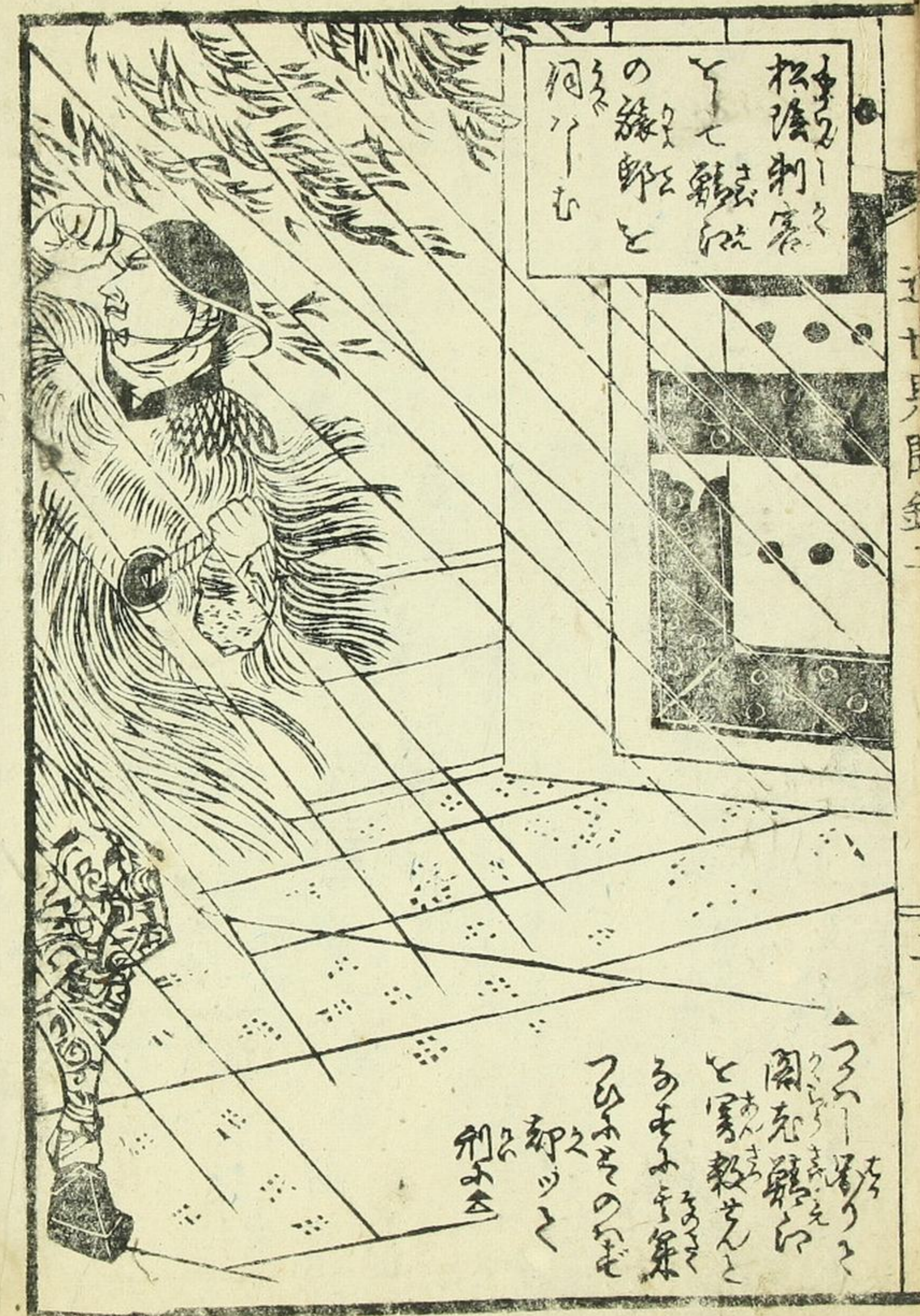


かの
 出を
 延長大系
 延長大系
 延長大系



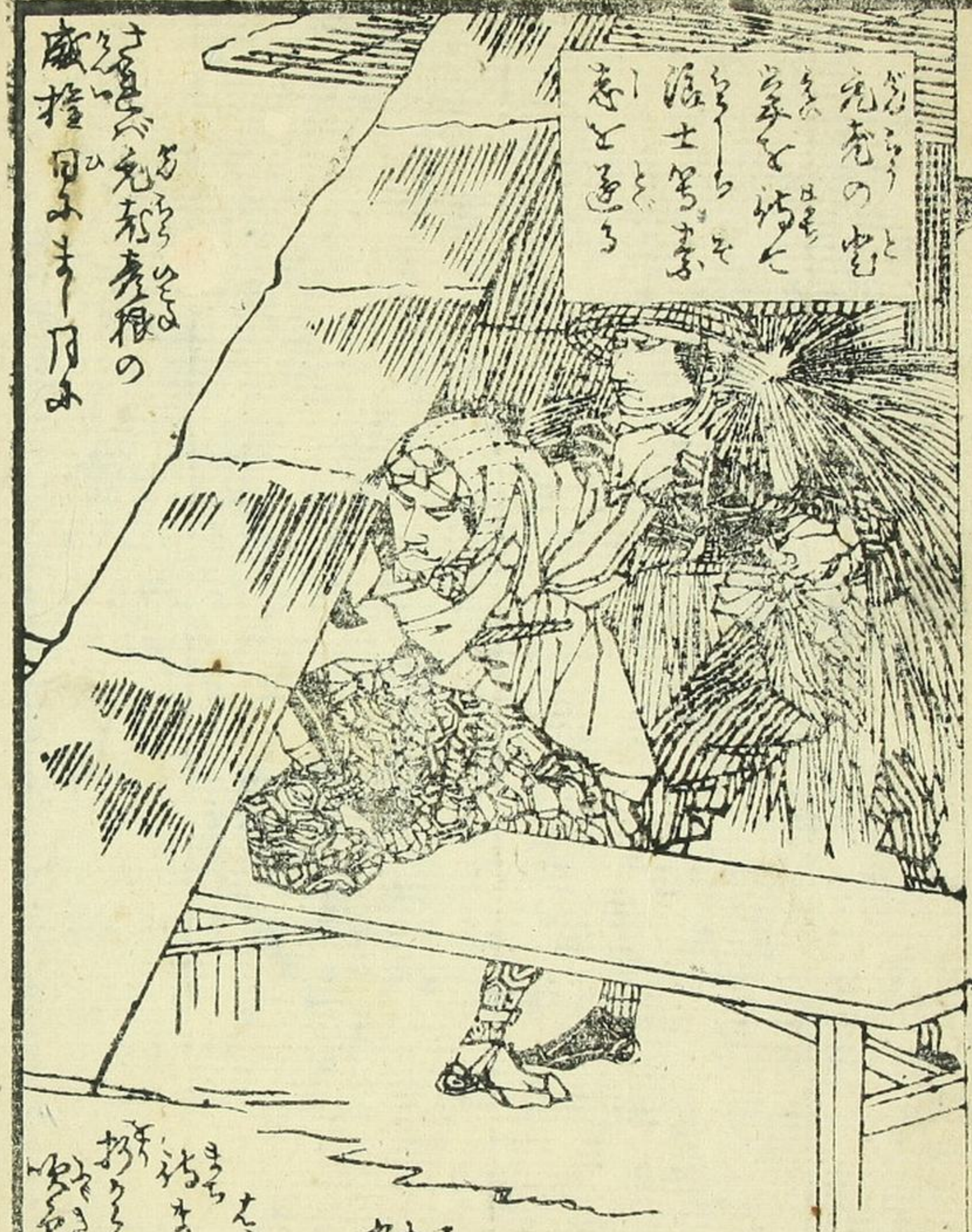
松陰判官
 の縁部と
 同くむ

松陰判官
 の縁部と
 同くむ



松陰判官
 の縁部と
 同くむ

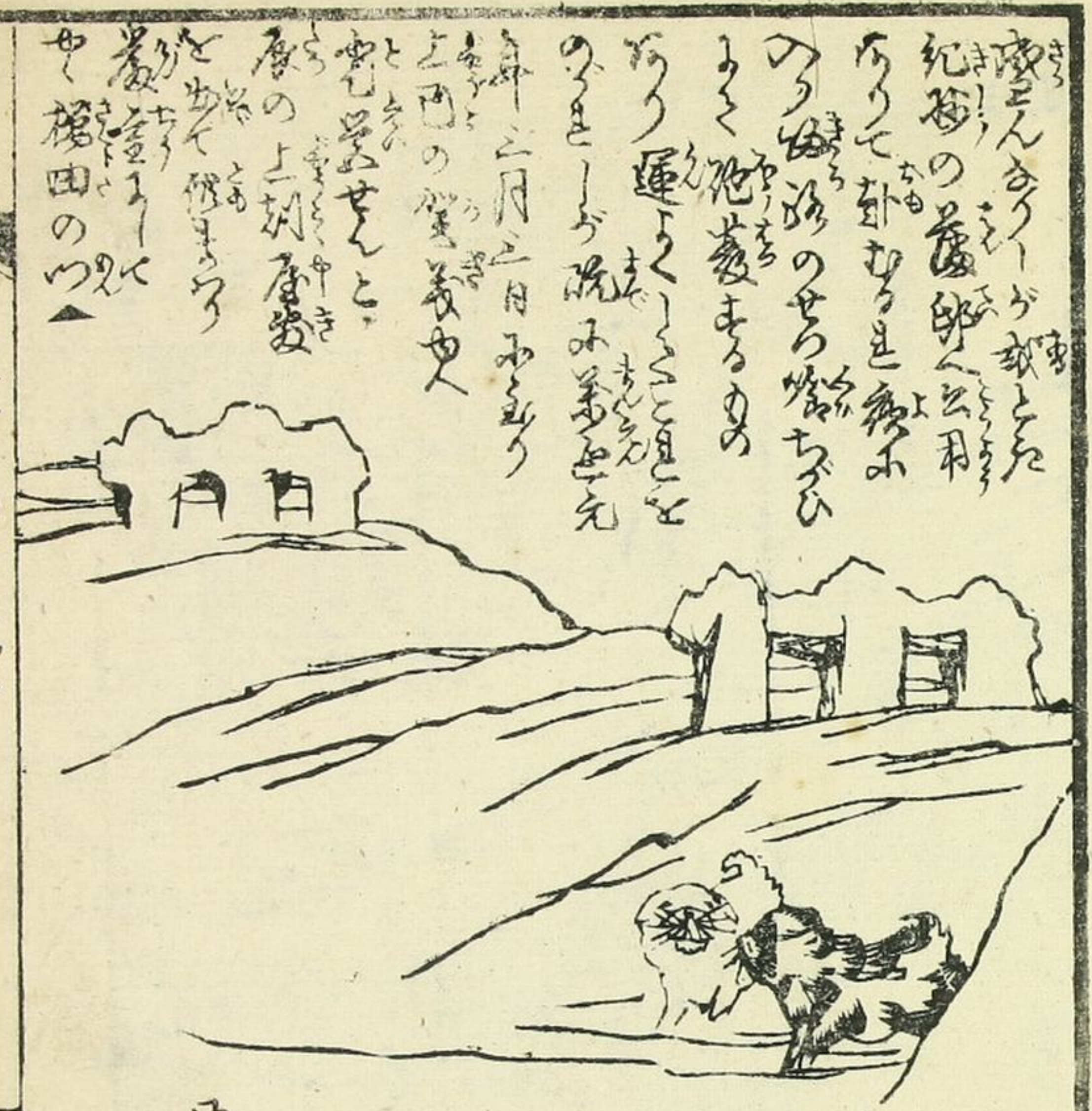
松陰判官
 の縁部と
 同くむ



光老の世
志と違ふ

光老の世
志と違ふ

光老の世
志と違ふ
光老の世
志と違ふ



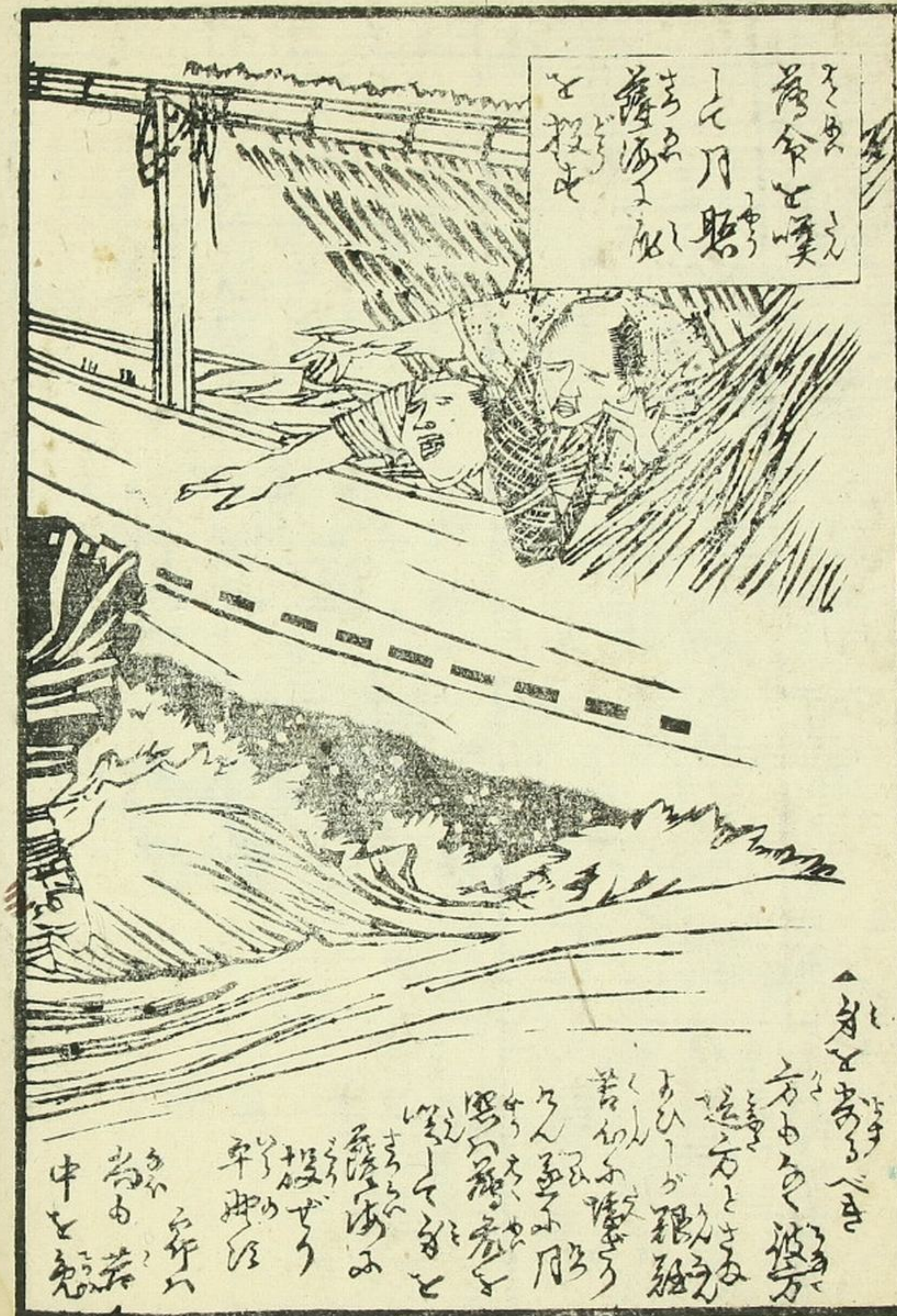
光老の世
志と違ふ

光老の世
志と違ふ



舟のこゝろ
 浪のうねり

舟のこゝろ
 浪のうねり



舟のこゝろ
 浪のうねり

舟のこゝろ
 浪のうねり

舟のこゝろ
 浪のうねり

舟のこゝろ
 浪のうねり

長崎の
善りそ有る
旨白刃の
下伏す

らふ平野と
同志や
脱士有る
其の志を
播磨の
よいつて
至固



一歩も
名い
れは
方
わ
大
我

しを
その
衆
有る
あま
か
き
年



りて
あ
し
大

外夷の傲慢を
 誇り軍を誇
 英人を斬
 内教を

慶應二年六月
 終日



橋中ふいぶと

命あれ
 命

あつきハツめと

あつきハツめと

禪

の座の上にて同じ

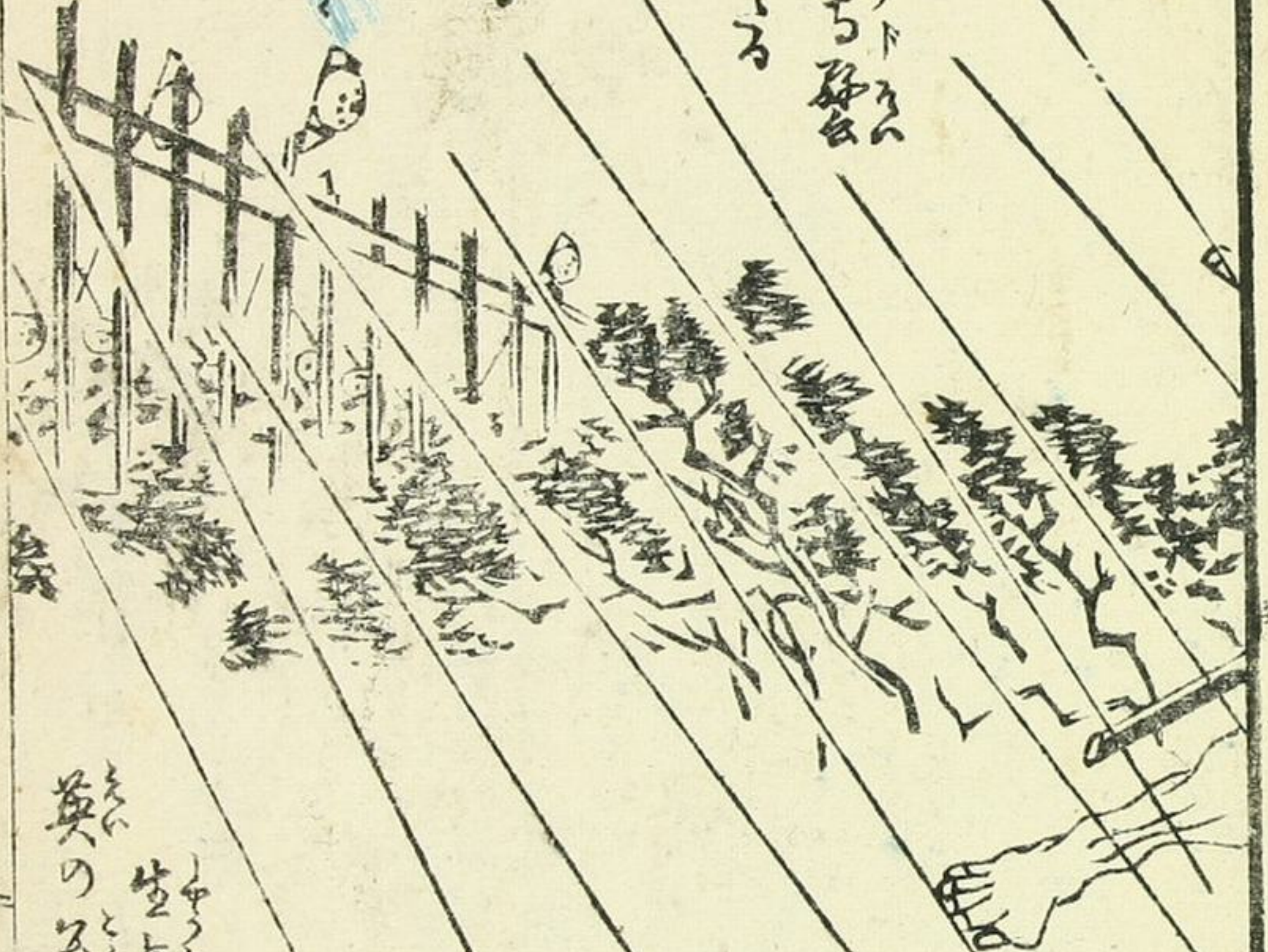
松平右衛門の

軍を誇ると

若英人二人と

殺害しそのま

割後



止むと

止むと

止むと

止むと

止むと

止むと

英の公使との暴動と



